



みんなで作ろう！ セーフコミュニティ ちちぶ

秩父市は、日本一安心・安全なまちを目指して、「セーフコミュニティ」の認証取得に向けた取り組みを行います。

■セーフコミュニティとは

世代や障がいの有無に関わらず、だれもが安心・安全に暮らせるまちづくりに継続的に取り組む「まち」のことをいいます。そして、こうした取り組みを「世界保健機関（WHO）地域の安全向上のための協働センター」が国際的に認証しています。

「ケガやそれを引き起こす事故などは偶然に起こるものではなく、予防することができる」という理念のもと、科学的なデータに基づく「プログラム」と、地域・行政・警察・家庭・学校などの「横断的な連携」を組み合わせ、事故・犯罪、災害、自殺等の予防に積極的に取り組む活動です。



■セーフコミュニティは

新しく特別なことをするのではなく、現在の活動に

- ① 科学的な分析による「予防」
- ② 横断的な「連携・協働」

のふたつの観点をプラスします。

■いまなぜ セーフコミュニティなのか

「安心・安全」はまちづくりの最も基礎的で重要な要素と考え、秩父市民の一人ひとりが、安心・安全に暮らせることをまちづくりの最大の課題としています。

現在も、秩父市では市民や企業などの安心・安全の取り組みが大変活発ですが、今回、セーフコミュニティの手法を活用し、市民と一体となって、よりレベルの高い安心・安全のまちづくりに取り組みたいと考えています。

こうした活動も全て
セーフコミュニティ活動



AED講習会



高齢者筋力アップ教室



交通安全キャンペーン



地域の自主防災訓練

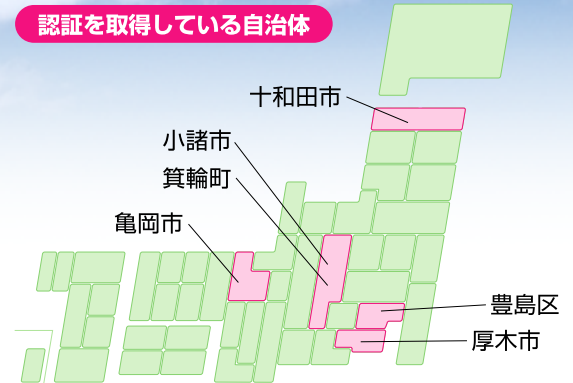
ずっと住み続けたい “日本一安心・安全なまち”をめざします

■ 他の市町村の取り組み状況

平成24年9月現在、6つの自治体がセーフコミュニティの認証を取得しています。

このほか、7市が取り組み宣言を行い、認証取得を目指しています。

*世界では約30か国、約270都市と地域が認証を受けています。



■ セーフコミュニティで期待される効果

① 地域の「絆」、コミュニティの活力向上

「安心・安全なまちづくり」を合言葉に活動する様々な団体が、連携して活動に取り組むため、地域の安心安全度が高まるのはもちろん、セーフコミュニティ活動を通じて地域の絆が深まり、コミュニティの活力が一層高まります。

② 市民意識の向上、事件・事故の発生抑制

地域の課題に関するデータを科学的に分析した「根拠のある安全対策」を継続的に実施することにより、活動に取り組む市民の安全に対する意識が高まります。また、事件・事故の発生環境を改善することで、発生件数が抑制されます。

③ 市や地域のイメージアップ

世界基準の安心安全に関する認証が受けられるため、市や地域のイメージアップが図られます。これにより定住人口や観光客の増加、企業誘致への効果等も期待されます。

④ 医療、介護等の費用の削減

セーフコミュニティの先進地スウェーデンでは、事故によるケガが30%も減少した例があるなど、ケガの「予防」に重点を置いた効果的な活動により、将来的には医療費や介護費用の削減も期待されます。

■ 秩父市の取り組みの特色

- ① 関東地域では、厚木市、豊島区、北本市が既にセーフコミュニティ活動に取り組んでいますが、中山間地域である秩父市は、**土砂災害の危険のある場所**が1,000か所以上もあります。この対策は市民の生命・財産を守る特に重要な取り組みになると考えています。
- ② 秩父市は埼玉県内の市の中で、**高齢化率が非常に高い市**です。数十年後には、およそ2人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上という予測もあります。こうしたことから、お年寄りのケガ、事故の防止等への取り組みについては特色ある活動として、今後の県内他市の先進事例となるよう検討していきます。

【問い合わせ先】

市長室地域政策課セーフコミュニティ担当

☎0494-22-2823